

6月補正予算で木造耐震診断事業 50万円が提案されました。

6月補正予算で、木造耐震住宅の耐震化を促進するため、愛媛県建築士会と業務委託契約を締結し、市の窓口へ申請する事により、技術者を派遣する「耐震診断技術者派遣制度」を導入することが説明されました。委託料10棟分です。

説明で、「予算規模が少ない。追加するつもりがおありですか？」と聞くと、「その予定」ということでした。議会が6月21日に最終可決すれば、効力を発揮すると思います。是非ご利用ください。

6月議会補正予算案

単位：千円

○移住・定住支援事業：1, 530

移住、定住支援センターが移住定住における情報発信、支援、空き家バンク活用のためアンケートを実施し、ホームページに移住定住サブサイトを作成する

○コミュニティ助成事業補助金：3, 700

野田獅子保存会・大和獅子保存会

○公衆無線LAN環境整備支援事業：27, 990

○大洲学園給食室エアコン取り替え：2, 226

○鵜飼い観光60周年記念補助事業追加：1, 467

俳句コンテスト実施

○市営住宅耐震補強：118, 581

慶雲寺団地、鉄砲町団地

○避難対策支援強化事業：14, 688

○中学校改築事業：15, 800

大洲北中学校技術室棟及び屋内運動場改築（9, 900）

大洲南中学校屋内運動場改築（5, 900）



○大洲市病院事業会計について

大洲市病院事業会計で人件費が4500万円減額されていました。内容は、4月1日で病院給食を民間委託した。職員が3名退職。7名が配置転換したといひます

○大洲市浄化槽設置整備事業にかかる補助金額の改正案について

公共下水道事業計画の見直しに伴い、浄化槽区域が拡大になる。合併浄化槽を推進する必要があるということで、補助額が改正が提案されました。転換は増額ですが、新築は据え置きです。市内全域にこの補助額は適用されます。公営企業法適用については、引き続いて検討しているようです。

補助額（転換のみ、新築に係る補助額は改正しない）

	現行	改正後	増減
5人槽	288千円	400千円	112千円
7人槽	360千円	480千円	120千円
10人槽	476千円	640千円	164千円

梅木市議は、今年3月議会で公共下水特別会計について、次のように指摘してきました。

公共下水特別会計については、一般財源の繰り入れ、およそ4億円、市債で4億円、国の交付税が1億円、利用者などの利用料で1億円で、およそ10億円の収入。一方借金の返済が4.5億円、建設費が3.7億円、管理費・総務費が1.7億円の会計です。会計的には成り立っているように見えますが、地方債の残高は52億7600万円と年々増加しています。今回この会計を公営企業法適用にするため1000万円の業務委託料を予算化しています。本会計は採算が合う見通しはありません。大幅な利用者負担を求める事になると心配されます。また、こうした公営企業法適用は大洲市病院や水道事業でもされていますが、国が言うからということではなく、事業縮小も含めて十分な検証と大洲市としての判断を持つべきです。